

中学生ワークショップ 「参加者の声」 アンケート結果

1、 なぜ、「福島県の未来の姿」に参加しようと思いましたか？

- ・ 一県民として、これから住み続けるであろう福島県について、いろんな人と意見を交換したり、深く考えてみたいと思ったから。学校で薦められたから。(女子)
- ・ 学校の生徒会役員として。小学校から調べてきた放射線についてのことや、自分の知ってる事、考えたことを県のために生かしたいと思ったから。(女子)
- ・ 自分の出身地である福島県のより良い未来について話してみたいと思ったから。(男子)
- ・ 小学5・6年生のときに参加して楽しかったから。(女子)
- ・ 友達に誘われてこの機会で、自分でも福島の将来について考えてみようと思ったからです。(女子)
- ・ 温暖化など、どんどん悪い方に進んでしまうかも知れない日本を、次の主役世代となる私達の意見や行動で福島から変えていきたいという気持ちがあったから。(女子)
- ・ 先生から声をかけられて、「福島県の未来の姿」に参加して意見を出したり聞いたりしながら福島県について考えたいと思ったから。(女子)
- ・ 先生に声をかけていただき、私が今暮らしていて、これからも住み続ける福島県の現状、未来について話を聞いたり、他校の生徒のみなさんと話してみたいと思ったから。(女子)
- ・ 大きく分けて2つあります。一つ目は、福島のことをもっと知り、こうけんしたいと思ったから。二つ目は、自分のコミュニケーション能力を高めたいと思ったから。(男子)
- ・ 福島県が良い未来へ向かうためにはどうする必要があるのかをしっかりと考えたかったから。(男子)
- ・ 学校の先生からのすすめです。私は今、将来福島県に住むのか悩んでいるからです。(女子)
- ・ 友達にさそわれたのがありますが、自分達が今暮らしている福島県の未来について考えてみようと思い参加しました。(男子)

- ・ 周囲に参加しようとする人がいなかったのので、この機会で自分の意見を伝えたいと思ったから。(男子)
- ・ 未来の福島について友達とかと考えたかったから。(男子)
- ・ 僕は福島のイベントなど(祭など)に参加していて、たまたまこのイベントを見つけて、自分で「そういえば考えたことなどなかったなあ」と思い、参加しました。(男子)

2、 今日、参加して気づいたことは？

- ・ 私たちが普段普通に暮らしている福島県にもいろんな魅力や問題がある。それをどう対処していくかは、私たちも他人事ではなく、県民みんなが関わっていくべきことだと気付いた。(女子)
- ・ 現在福島には、無視できない問題が数多くあり、それに対する策を真げんに考えなくてはいけないと思った。(女子)
- ・ あらためて福島の課題について気付けた。(男子)
- ・ 福島にはたくさんの課題があることがわかった。(女子)
- ・ 福島には強みになる「+」の面も「-」の面もあることに気づきました。(女子)
- ・ 今の厳しい現状や、短期間で終わらせられない問題を私達も考えて、大人になってからや、今日から役に立てるようにしていかなくちゃいけない。(女子)
- ・ 福島の復興は進んでいる。しかしまだたくさんの課題があるということ。(女子)
- ・ 復興しつつある福島にも、まだ課題が残っていること。同世代のみなさんも、福島をよくしていきたいと思っていること。(女子)
- ・ 福島県では、私達の知らないような活動をたくさんしている事に気づいた。(男子)
- ・ 人口減少をおさえるのは、とても大変だということ。(男子)
- ・ 福島の未来について真剣に考えている人が、中学生を含めて多くいること、福島の未来のためにはわたしたちの協力と意見が不可欠なことです。(女子)
- ・ 福島県の今の現状や人口、社会、自然などの問題について知ることができ、自分が今できることを考えようと思いました。(男子)

- ・ 「福島 of 未来の姿」で話し合いをしたが「伝統」や「教育」など自分でも目を向けられなかったところの意見に気付くことができた。(男子)
- ・ 福島県の良さをたくさん知れたし、また悪いところも気づけた。(男子)
- ・ 福島の被害や特色や、そんなことを考えてくれている人がいるということ。(男子)

3、 あなたが今日、うれしく思ったことは？

- ・ 復興が確実に進んでいること。福島県のことを考える人がたくさんいること。(女子)
- ・ 自分の意見が県のためになるということ。(女子)
- ・ 様々な方の福島への考えが聴けて良かったです。(男子)
- ・ 福島は復興が進んでいること。全国でいろんな1位があったこと。(女子)
- ・ 福島には、たくさんの1位があることです。また、たくさんの福島を想ってくれる方々がいることです。(女子)
- ・ このように行政だけが計画を立てて福島をつくっていくのではなく、「生の声」を参考に考えていただけること。(女子)
- ・ みんなと協力して意見をまとめあったこと。福島の良いところをたくさん知れたこと。(女子)
- ・ 私が知らない「1位」を福島県がたくさん持っていたこと。明るい福島の未来について話しあえたこと。(女子)
- ・ こういった場所で副産物にはすぎませんが、他中の人と交流できたことがうれしかった。(男子)
- ・ 福島がTOP5のものがとても多かったこと。(男子)
- ・ 意見を共有できる人、共に考えてくれる人がたくさんいたことです。(女子)
- ・ 福島県にもたくさんのいいことがあるということがうれしかったし、復興が進んでいて、少しずつ笑顔を取りもどしていくということもうれしかったです。(男子)
- ・ 福島の復興の進捗を知ることができたことや、様々な意見を聞いたり、発信できた事。(男子)
- ・ リハーサルもしないで本番で楽しく自分たちの意見をしっかり言えたこと。(男子)

- ・ 自分の意見も取り入れながら発表出来たこと。(男子)

4、 あなたが今日、悲しく思ったことは？

- ・ まだ震災からの復興は完全ではないけれど、私たちがそのためにできることは少ないこと。(女子)
- ・ 東日本大震災で被害にあわれた方々が、また違う自然災害で悲しい思いをしているということ。(女子)
- ・ 若い人々が福島からはなれていくこと。(男子)
- ・ 人口減少が進んでいること。福島県産の食材の価格が安くなっていること。(女子)
- ・ 震災の風評がまだ残ってしまっているということです。また、教育・健康面での順位が低かったことです。(女子)
- ・ 今の現状が思っていたよりもひどかったこと。このような問題について、もっと何年も前から取り組むことができなかつたのかということ。(女子)
- ・ 福島には風評被害がまだあるということ。(女子)
- ・ 震災から9年弱たつていても、風評被害が続いていたり、避難しなければならない人がたくさんいること。(女子)
- ・ ありません。今後も良くなっていくのだろうと、希望を持った。(男子)
- ・ 2050年近くには、日本の人口が1億人を切ってしまうこと。(男子)
- ・ 自分は福島のことをよく知っていなかったことです。(女子)
- ・ 人口が減少していて、社会や自然に大きな問題をかかえていて、社会減、自然減などのような問題をかかえていることが少し悲しかったです。(男子)
- ・ 福島の現状や人口減少の事。(男子)
- ・ 福島県は学力がワースト2位だったこと。(男子)
- ・ まだ避難している人が4万人もいること。(男子)

5、 あなたが大人になった時、どんな福島県になってほしいと思いましたが？

- ・ 誰もが安心・安全に暮らせて、活気のある福島県。みんなが笑顔の福島県。

(女子)

- ・ 県民の意見を尊重し、民主的な政治をする福島県。元気で観光客が日本に1番おとずれる福島県。(女子)
- ・ 誰一人不自由ではなく、全員が平和と笑顔、望み、実行する福島県。(男子)
- ・ みんなの願いに答えられるすてきな県になってほしい。ほかの都道府県の人があこがれる福島であってほしい。(女子)
- ・ 福島の伝統を守りつつ、「福島ならではの」新しい文化ができ、楽しく笑顔あふれる県になってほしいです。(女子)
- ・ 改善が難しくても、現状維持できていて（できれば改善）県民・国民が安心して暮らせる福島県。(女子)
- ・ 子供も大人もおとしよりもみんなが笑顔で安心して住める活気のある福島県になってほしい。(女子)
- ・ 一度福島県を離れたとしても、また戻ってきたくなるような、「福島県出身」であることに誇りをもてるような福島県になってほしいと思いました。また、私も福島県のために活動して、明るい福島県を創っていきたいです。

(女子)

- ・ 地域ごとのつながりが増え、活気のある福島県になってほしい。(男子)
- ・ 健康な人も、そうでない人も、どんな人でも住みやすい、生きてて良かった思える福島県になってほしい。(男子)
- ・ 住民が福島県のことを好きで、人口が少ないからこそアットホームな雰囲気があることと、東日本大震災のこと全てをマイナスにとらえず、教訓として残せる福島です。(女子)
- ・ 福島県のいろんな問題も少なく、たくさんの人に笑顔があふれ、人口も少しずつ増えてきていて明るい福島県になってほしいです。(男子)
- ・ 新しいことを増やすのではなく、伝統を発展させてつくられる福島県になってほしい。(男子)
- ・ 福島の良さを知ってもらって全国で有名な県になってほしいと思った。(男子)
- ・ 明るくにぎやかな福島県であってほしい。(男子)